



新学生代表が決まりました！

12月号の大見出しは、新学生代表の山田さんに意気込みを書いていたきました！



次期学生代表になりました山田です。昨年からゼミのオンライン開催などもあり、ゼミ内での交流が減っているのではないかと思います。そこでレクリエーションの開催頻度を増やすことなどで交流を増やしていき、研究室に来やすくなる環境づくりや学生間で研究に対する意見の交換が増え研究活動の活性化につなげていきたいと考えています。“研究と研究以外

の部分でメリハリをつける“、そのような研究室にしたいと考えているので、研究室に対する意見や質問があればどんどん教えてください。全員の力でよりよい研究室にできるようご協力をお願いします！

執筆：山田 将司

インターンシップ体験談

「IT業界」の会社のインターンシップに参加したM1の宮川さんに、体験談を書いていただきました！



オンラインで開催の1day仕事体験/インターンシップに参加しました。FAやロボットの事業を展開している会社で、まず、商品の紹介や事業部ごとの説明がありました。その後、10年後にどのようなロボットがあるのかを想像し、新しい技術などを組み込み考え、考えたロボットの発表を行いました。発表後は、質疑応答があり、最後に技術系の社員の方からフィードバックをいただきました。「利用者の目線だけでなく、企業側の目線でも考えられるといい」という意見をいただき、社会人の目の付け所を学ぶいい機会になりました。

執筆：宮川 俊二

～OB・OGからのメッセージ～

執筆：窪園 隆介

2020年度 福田研究室卒業生 <大学院>

■現在の職種・業務内容

PMO (Project Management Office)として、会社の中で大きな案件の支援(品質やコストの管理サポ)をしています。とは言え、新人でできることも限られているため、会議へ参加して議事録作成をしたり、ワークスペースや連絡会に参加したりして知識を付けることに必死になってます。

■大学(研究・研究室内の活動)での経験が社会に出て役立つこと

ひいひい言いながらゼミや学会のために進捗を生んで、発表資料を作成していた経験や研究室の係活動をしてきた経験が何だかんだ生きています。毎週毎週大変だと思いつつゼミに向けた準備や係活動の取りまとめをしていましたが、Q(品質)・C(コスト)・D(納期)を意識して取り組む力はどの会社のどの部署に入っても必ず必要になりますし、CPS研なら知らないうちにその力が身につけています。(私は身につけていたと感じています。)

■大学(研究)と社会人との違い

目上の方に気軽に相談できるか否かだと思います。社会人は自分の業務に大きな責任が生じるので、問題にぶつかった際は「ある程度」自分で考え解決する力を身に付けていかなければなりません…。その点大学では、問題にぶつかった時に頼りになる先生方・先輩方がたくさんいらっしゃいます！(もちろん可能な限り自分で考えた上でですが)どうしても答えが見つからないときには足繫く先生・先輩方の下へ通い相談することをオススメします！！

■社会人になって感じた、学生時代にやっておけばよかったこと

社会人は自由な時間が本当に少ないと感じます。学生の立場を利用して思い切り遊んどけばよかった…はもちろんですが、資格ももっと取得しておけばよかったと思います…。勉強する時間が足りません(泣

■社会人になって変わったこと(生活、環境、心の変化等)・大変だったこと

生活リズムは規則正しくなりましたが、その他の点で自分自身の生活が大きく変化したなという点はあまり感じていません。ただ、自分も友人も皆社会人になったことで予定を合わせづらくなったのは大変に感じます。皆が近くにいる間に思い出残しはたくさんしておいた方がよいと思います！

■研究室の後輩へメッセージ

CPS研は様々なことにチャレンジしやすい環境がそろっています(国内/国際学会の参加や訪問デモ等)。私も自分が複数の学会発表や論文執筆を行わせていただいて、大変ではありましたが充実した3年間だったと思っています。会社に入ると自分が何かに挑戦するなんてことは滅多にないので、学生の間はたくさんチャレンジしてみてください。



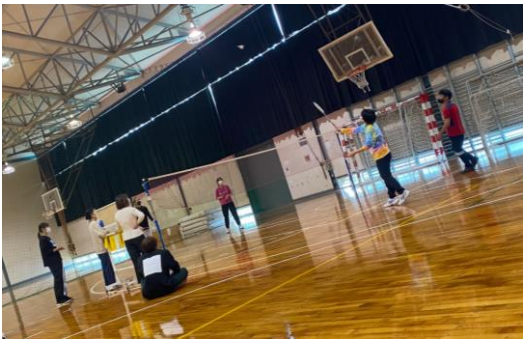
11月のレク【バドミントン】



～参加した学生の感想～

今回レクリエーションに初めて参加し、同じ研究室の先輩方だけでなく他研究室の先輩方とも話せて嬉しかったです。また、初めて翻訳機を使って会話できて楽しかったです。
執筆: 福田 奈々

久しぶりに運動することができ、とても楽しかったです。いろんな種類の球技を短時間でできて充実した時間でした。レク係さん、企画してくださりありがとうございます！
執筆: 明石 華実



Sharing my local town

小城の食べ物の紹介をします。車ですぐですので皆さん一緒に行きましょう。肉なら森山か焼肉園でカレーなら一平でそのまま隣の唐津バーガーを食べましょう。ラーメンなら竹ちゃんやちゃんぼんなら食道楽でしょう。中華はコシチャンです。東盛菜館とソシオンは避けるべきです。居酒屋は俺のRYUGIです。魚はちほだし巻き卵が600円もするので避けるべきです。駅前の塩ラーメンが小城で一番うまいと言われているのでぜひ行きましょう。

山口研B4
中野 功輝



福田研B4
吉田 京平



私の地元、唐津の「鏡山」について紹介します。唐津市の東部に位置する山で、山頂には展望台や休憩所、芝生の広場が整備され、桜やツツジなどの花の名所でもあります。展望台からは、虹の松原や唐津湾などの唐津市街の情景を見渡せることができます。また、山頂へ続く、曲がりくねった5キロの道のりはドライブコースとしても親しまれています。自然に触れてみたい、ドライブに行きたいと思った方はぜひ足を運んでみてください！



引用: <https://www.asobo-saga.jp/search/detail.html?id=88>



引用: https://www.asobo-saga.jp/photo/photo/small_8007.jpg

先生コラム～生徒から先生へのQ&A～【江藤さん】

Q1. 学生時代の研究テーマ・そのテーマにした理由

A1. 私は佐賀大学の卒業生で、理工学部物理学科の高エネルギー物理学の研究室に所属していました。まだ情報の学科は無かった時代で、当時の学籍番号は85S204でした。研究テーマは正確な名称は忘れましたが、低出力X線によるレントゲン画像の作成の様な感じです。画像解析の研究で、NECのPC9801のTurbo Pascalでプログラムを書いていました。当時はPCはまだ高級品でまだプログラミングの講義などない時代でしたが、所属していた研究室ではPCを私1人が自由に使えるプログラミングの勉強もできました。そのような環境が整った研究室を希望したのが研究のきっかけでした。

Q2. 先生になったきっかけ・先生になってよかったこと

A2. 大学を卒業後、横浜で衛星の開発の仕事をしていましたが、佐賀大学の教員から声がかかったのがきっかけです。地元が北九州であり横浜より近くなること、自分の母校であることなどで転職を決意しました。

Q3. 趣味・休みの日にしていること

A3. 旅行が好きなので、年中あちこち行っています。特に、夏は石垣島でダイビング、冬は北海道でスキーが毎年の定番です。今年の3年生にも似た様な趣味の学生さんがいらっやいましたね。ここ2年ほどコロナの影響で石垣島には行けてませんが、北海道のスキーは欠かしていません。以前は学生さんを連れて行りましたが、コロナでここ数年シーズンは連れて行けず、今シーズンも連れて行けそうにありません。来シーズンこそは学生さんを連れて行けると良いですね。
執筆: 江藤 博文

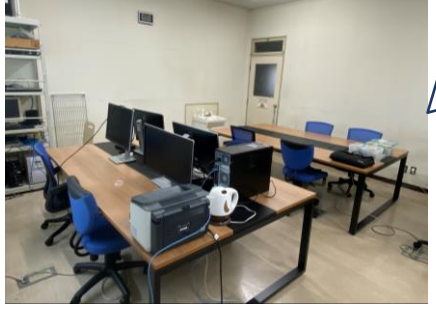


編集後記

●背景写真(北海道, 撮影: 江藤さん)



●402に共有スペースができました！



だ三年生の皆さん、課題や研究等でぜひ使用してください！